

「志賀原子力発電所における石川県・志賀町への連絡基準に係る覚書」
連絡区分Ⅲに係る連絡（平成22年6月分）について

本日、北陸電力(株)から、連絡基準に係る覚書連絡区分Ⅲ（定期的に連絡するもの）に該当する事象の平成22年6月分として下記のとおり連絡があった。

いずれの事象についても、立入調査を実施し、発生状況や対策等を北陸電力から聴取している。

1. 志賀2号機（運転中） 主蒸気止め弁の開度指示計に係る検出器の不具合について

運転停止中に蒸気がタービンに行かないようにするための、主蒸気止め弁の開閉度を測る検出器3個のうち、1個に不具合が生じたもの。

残りの検出器は正常に機能している。（運転中であっても検出器が正常に作動しているかどうかを確認できるようになっている。）

志賀2号機は現在運転中であり、北陸電力では、次回の定期検査時に検出器の交換等をする予定。

2. 志賀1号機（定期検査中） 原子炉冷却材再循環ポンプ出口弁の排水管の溶接部のひびについて

検査において、再循環ポンプ出口弁からの漏えい水を処理するための排水管の溶接部にひびが確認されたもの。

北陸電力では、定期検査中に、原因調査と必要な対策を講じる予定。

3. 志賀1号機（定期検査中） 原子炉内の燃料取り出し後における制御棒の挿入事象について

制御棒は水圧で挿入・引抜きが行われるが、その水圧を調整するための弁の点検をしていたところ、閉じているべき弁の1つが開いていたため、制御棒1本が炉心に挿入されたもの。

北陸電力では、作業手順の明確化とその徹底を図ることとしている。

連絡区分Ⅲ：原則として翌月10日までに連絡するもの

参 考：北陸電力HP

<http://www.rikuden.co.jp/mreport/index.html>

原子力安全対策室

県庁内線 4234

直 通 076(225)1465

志賀原子力発電所 2号機 主蒸気止め弁(D)開度指示計用検出器に係わる警報の発生について

定格電気出力一定運転中の志賀原子力発電所 2号機において、平成22年 6月 2日 17時34分、主蒸気止め弁* (D)開度指示計用の検出器の異常を示す警報が発生し、3個設置している検出器のうち、1個の検出器からの出力信号低下を確認しました。

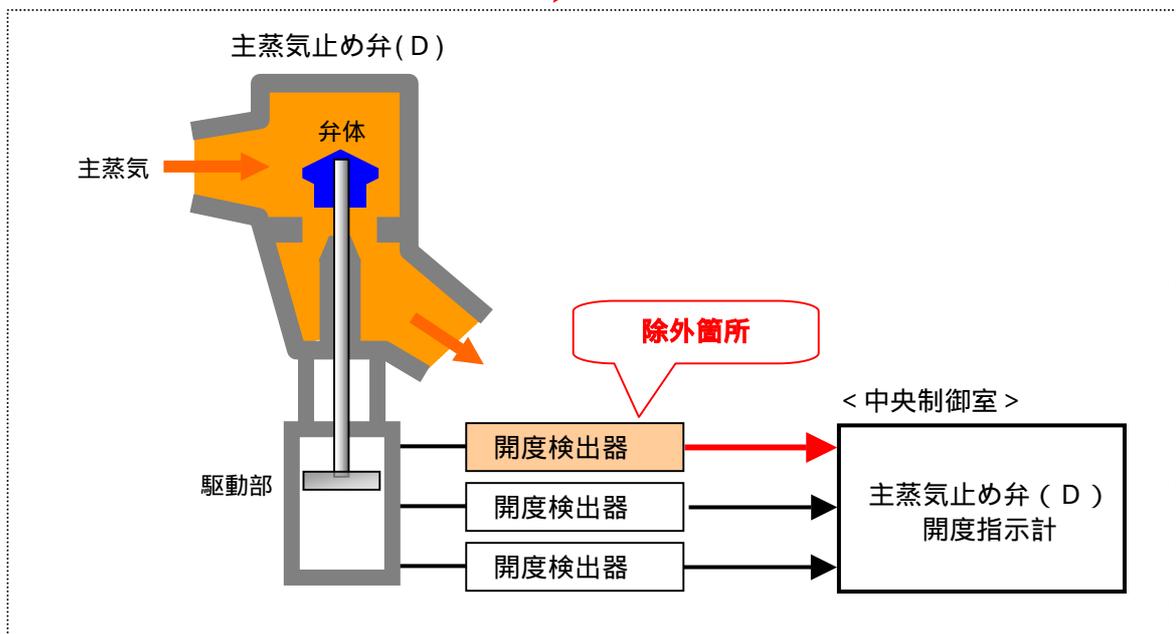
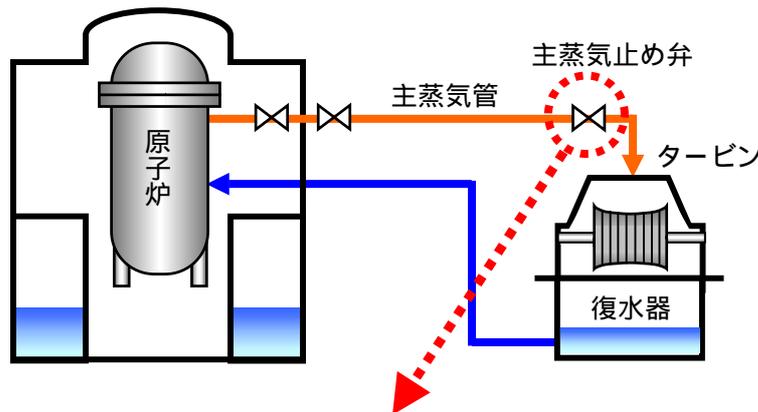
主蒸気止め弁(D)の開度は、残りの検出器により正常に指示しており、6月4日15時10分、出力信号が低下した検出器を除外し、警報を解除しました。なお、主蒸気止め弁の開度指示計は、原子炉の起動過程で使用しているものです。

現場を確認したところ、検出器の部品の一部が脱落していたため、当該検出器を次回の定期検査時に新品と取り替えます。

外部への放射能の影響はありません。

*：主蒸気止め弁

タービン起動時に開き、タービンへ主蒸気を送る弁で、主蒸気管 4本に 1弁ずつ設置している。



主蒸気止め弁概要図

志賀原子力発電所 1号機
原子炉冷却材再循環ポンプ（B）出口弁の漏えい処理系配管溶接部のひびについて

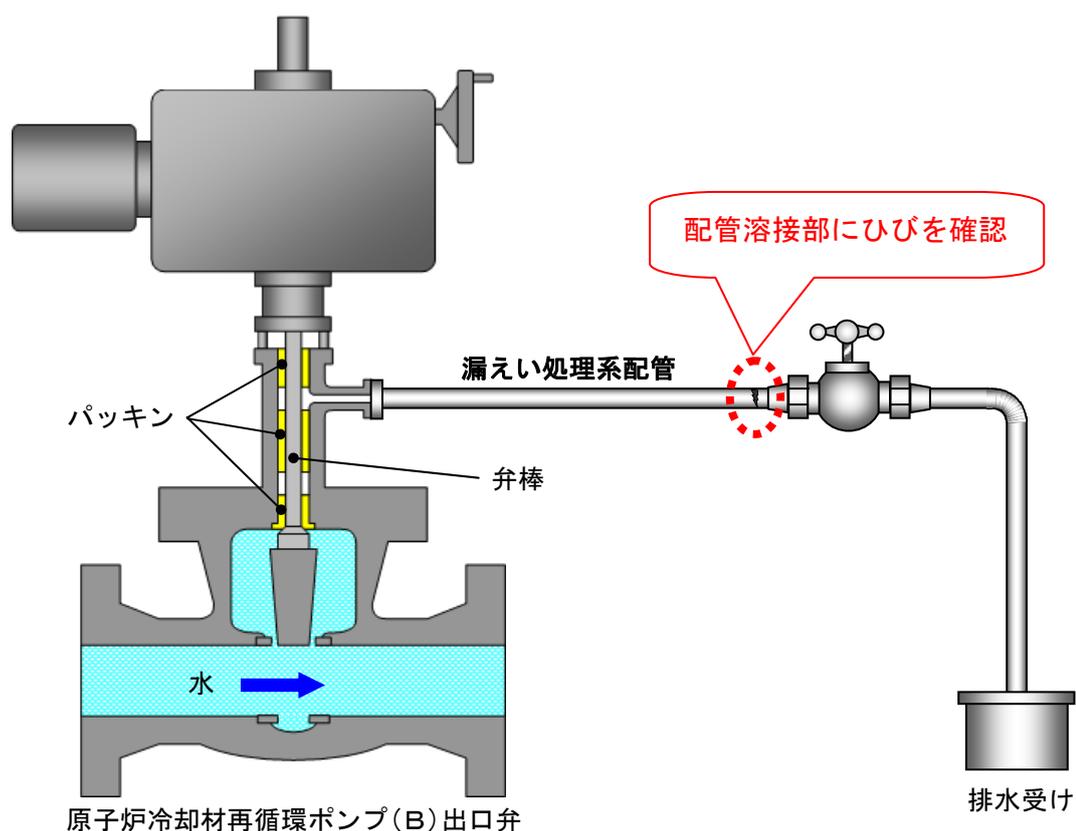
第12回定期検査中の志賀原子力発電所 1号機において、平成22年 6月17日16時頃、原子炉冷却材再循環ポンプ（B）出口弁の漏えい処理系*を点検していたところ、配管溶接部にひびを発見しました。当該配管に水は流れておらず、配管溶接部からの漏えいはありません。

今後、当該部を補修します。

外部への放射能の影響はありません。

*：弁の漏えい処理系

弁内部の水が外に漏れ出ないように隙間をパッキンにより封止しているが、水が外に漏れ出た場合に処理する設備



原子炉冷却材再循環ポンプ（B）出口弁 漏えい処理系概要図

志賀原子力発電所 1号機 原子炉内の全燃料取出し後における制御棒の挿入事象について

第12回定期検査中の志賀原子力発電所 1号機において、全燃料が原子炉内から使用済燃料プールに取り出され、全制御棒が引き抜かれている状態の平成22年 6月24日18時頃、制御棒 1本が原子炉内に挿入されていることを確認しました。

直ちに、当該制御棒の外観点検を実施した結果、制御棒表面に通常見られる程度のわずかなこすれた跡がありましたが、制御棒の機能に影響を与えるものではありませんでした。

その後、制御棒の詳細な点検および原因調査を7月4日に終了し、対策を策定しました。

制御棒が挿入された原因は、制御棒の水圧制御ユニット* 1体ずつの漏えい試験のため試験用の仮設ポンプで加圧したところ、当該水圧制御ユニットの挿入側隔離弁が開いていたため、加圧水により制御棒が原子炉内に挿入したものです。開いていた挿入側隔離弁は、6月23日に実施した制御棒に係る別の作業において開閉した際に閉め忘れたものです。

対策として、「1確認・1操作」、「1操作・1確認」という基本動作の徹底を図るため、社内要領に基本動作を明記するとともに、基本動作に関する運転員の教育方法を改善した上で、今後も教育を継続的に実施していきます。また、水圧制御ユニット内の隔離弁の開閉状態が一目で分かるように目印を取り付けます。

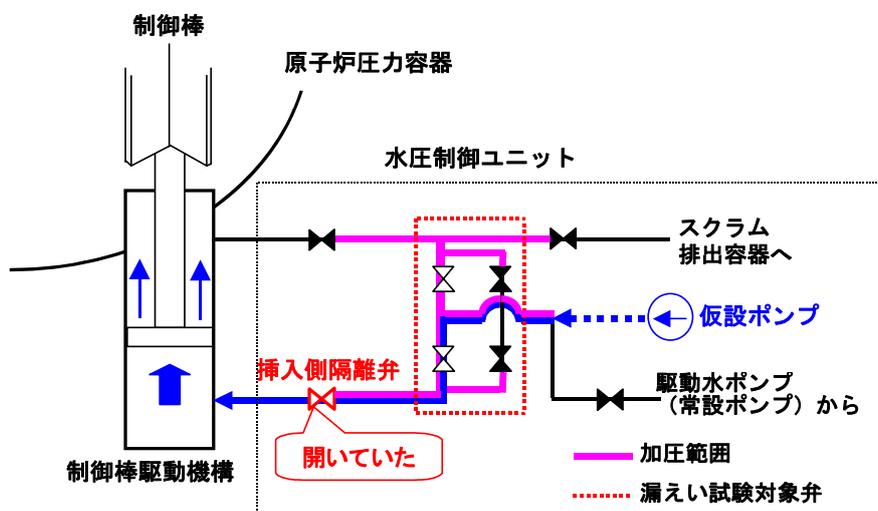
今後、確実な操作を徹底してまいります。

念のため当該制御棒は今回の定期検査時に新品と取り替えます。

今回の事象は、全燃料が取り出されている状態で行った試験の際に発生したものであり、原子炉の安全性に影響はなく、外部への放射能の影響はありません。

* : 水圧制御ユニット

制御棒を原子炉圧力容器内に挿入又は引き抜きするため、制御棒駆動機構に駆動水等を送る装置



水圧制御ユニット漏えい試験概要図